

第1回境川修景整備検討会議事録（骨子）

- 1 開催日時 令和元年11月14日（木） 午後1時30分～午後4時00分
- 2 開催場所 浦安市役所4階 災害対策本部室
- 3 出席者
（委員）
陣内会長、佐々木副会長、小檜山委員、知久委員、橋野委員、石川委員（計6名）
（オブザーバー）
千葉県葛南土木事務所（代理）高田河川改良課長、（随行）畑本調整課長
（事務局）
板橋都市整備部次長
道路整備課 大木課長、左海主幹、西村課長補佐、上田係長
宇田川主任主事、竹内主任主事、岩楯主任主事
（事務局補助）
公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、水草、二瓶、利満、坂本

4 議題

- (1) 検討会の目的、経緯、全体フロー
- (2) 境川及び周辺市街地の現状と課題
- (3) 他河川における事例
- (4) 境川整備と沿川まちづくり基本方針（案）
- (5) その他

5 会議経過

- (1) 検討会の目的、経緯、全体フロー
事務局より検討会の目的、経緯、全体フローの説明を行った。
- (2) 境川及び周辺市街地の現状と課題
事務局より境川及び周辺市街地の現状と課題に関して説明があった。
 - ・ 現況を示す資料として、江戸時代にできた歴史的市街地の位置と年代を正確に表示するよう意見があった。江戸時代にできたところ、近代にできたところ、歴史的資源が残されているところを書き分け、また、路地なども入れるようにとの意見があった。
- (3) 他河川における事例
事務局より他河川における事例に関して説明を行った。

(4) 境川整備と沿川まちづくり基本方針（案）

事務局より境川整備と沿川まちづくり基本方針（案）に関して説明を行った。

- ・ 基本方針検討に必要な情報として大正・昭和初期時代の浦安を描いた浦安町鳥瞰図を資料で提示すること、また、これを現在の地図の上にプロットすること、との意見があった。
- ・ 個別の課題に対応する方針はまとめられているが、境川と市街地との関係をとらえた大きな視点での方針には不足がみられる。方針案作成にあたって、例えば緑のネットワークや排水のネットワークなどについて、境川の背後地も広くとらえて整理すべきとの意見があった。この整理をもとに境川がどのような役割を担うのかを検討し、これらを含めたビジョンを描くようにとの意見があった。
- ・ 今回整備対象であるAゾーンだけが歴史ゾーンであるような印象を受けがちであるが、実は整備済みのBゾーンが最も重要な歴史ゾーンであることが明らかになった以上、それも含め、A・Bゾーンを一体にとらえ歴史ゾーンの総合的な見直しを図るべきとの意見があった。
- ・ D1-1ゾーンに関しては、魅力的な提案があり、具体化に向け頑張ってもらいたい。設計者をコンペで選ぶ等の工夫で、整備のプロセス自体をまちづくりの一環として取り組んで欲しいとの意見があった。

(5) その他

事務局案を踏まえ、各委員の意見を反映し、次回に継続協議する。

6 傍聴 2名

問い合わせ先 都市整備部 道路整備課 河川海岸係 電話：047-351-1111（内線18256）